

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第19週の発生動向

全数報告の感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	-
		高鍋	80歳代	男	肺結核	発熱、胸痛、呼吸困難
		日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	-
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	50歳代	女	B型	全身倦怠感、黄疸 ワクチン接種歴なし
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	80歳代	女	-	尿路感染症

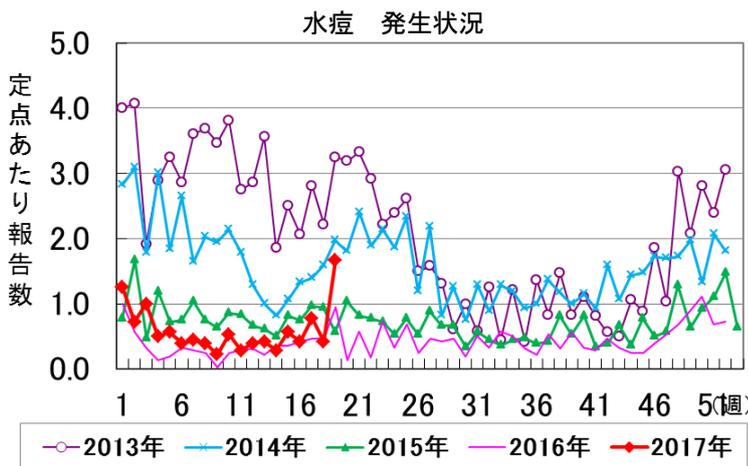
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は752人(定点当たり22.9)で、前週比114%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑である。

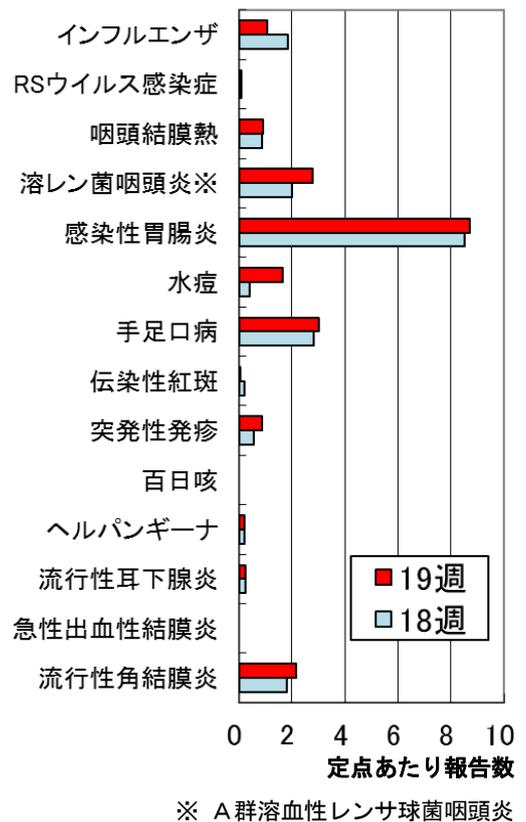
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【水痘】

報告数は60人(1.7)で、前週比400%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約1.0倍である。日南(9.0)、小林(2.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3~6歳が全体の約6割を占めた。



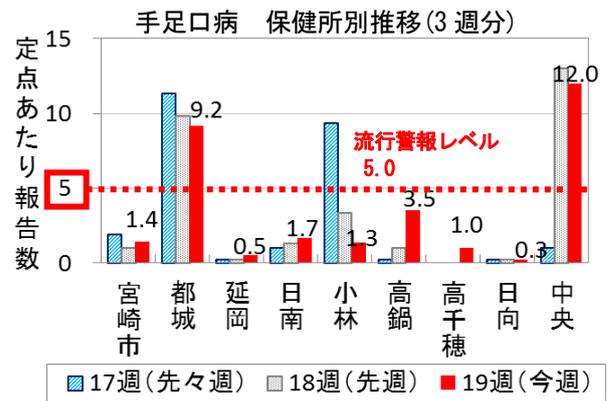
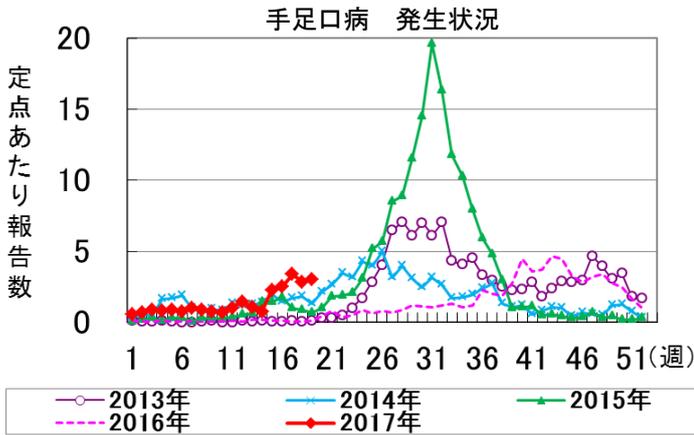
《前週との比較》



【手足口病】

報告数は108人(3.0)で、前週比106%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約4.8倍であった。中央(12.0)、都城(9.2)、高鍋(3.5)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳以下が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡保健所から1例報告があり、5～9歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：

宮崎市、延岡、日向(各2例)、高鍋(1例)保健所から報告があり、0～4歳が4例、5～9歳が3例であった。なお、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(9.2)
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(4.0)、水痘(9.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(12.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・水痘(7.0)
- ・手足口病(5.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 18 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 18 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	179 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	21 例		
	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
4類感染症	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	12 例				
	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9 例
5類感染症	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例
	水痘(入院例)	4 例	梅毒	38 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 77%と減少した(連休の休診含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎である。

RSウイルス感染症の報告数は592人(0.19)で前週比68%と減少し(連休の休診含む)、例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約1.5倍である。沖縄県(2.1)、富山県(0.55)、鹿児島県(0.42)からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2017年4月>

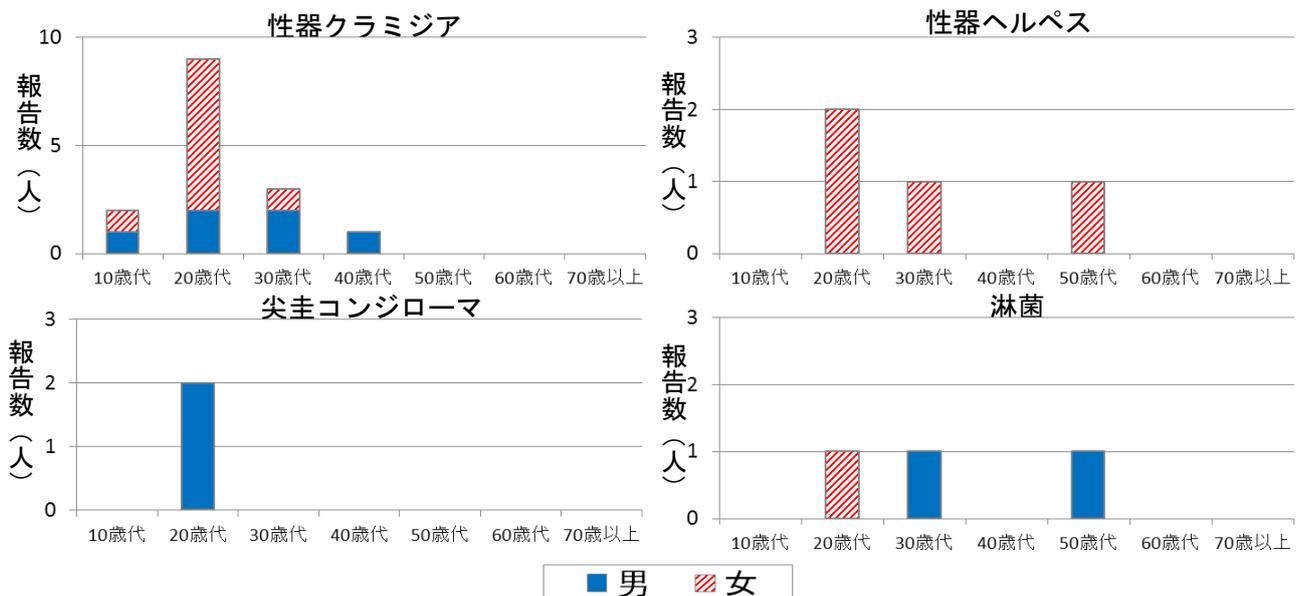
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人(1.9)で、前月比86%と減少した。また、昨年4月(2.2)の83%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月の約0.8倍、昨年4月の約0.9倍である。20歳代が全体の6割を占めた。(男性6人・女性9人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の1.0倍、昨年4月の約1.3倍である。(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年4月の0.4倍である。(男性2人)
- 淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の約0.8倍、昨年4月の約0.8倍である。(男性2人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：980

定点医療機関からの報告総数は3,604人(3.7)で、前月比95%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,858人(1.9)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症731人(0.75)で前月比94%、尖圭コンジローマ426人(0.43)で前月比90%、淋菌感染症589人(0.60)で前月比94%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で前月比58%と減少した。また昨年4月(3.0)の約0.7倍である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約0.6倍、昨年4月の約0.8倍である。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：476

定点医療機関からの報告総数は1,471人(3.1)で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,297人(2.7)で前月比99%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症169人(0.36)で前月比113%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比33%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第19週(5月8日～5月14日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	109	64	20	2	12	8	10	8		3	1
	定点あたり	1.85	1.08	1.25	0.20	1.71	1.60	2.00	1.33	0.00	0.50	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	3	3		2						1	
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	32	33	5	6	4	12	3			2	1
	定点あたり	0.89	0.92	0.50	1.00	1.00	4.00	1.00	0.00	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	100	32	7	16	11	7	9	7	10	1
	定点あたり	2.00	2.78	3.20	1.17	4.00	3.67	2.33	2.25	7.00	2.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	306	313	89	54	33	41	37	14	4	37	4
	定点あたり	8.50	8.69	8.90	9.00	8.25	13.67	12.33	3.50	4.00	9.25	4.00
水痘	報告数	15	60	10	5	4	27	6	2		6	
	定点あたり	0.42	1.67	1.00	0.83	1.00	9.00	2.00	0.50	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	102	108	14	55	2	5	4	14	1	1	12
	定点あたり	2.83	3.00	1.40	9.17	0.50	1.67	1.33	3.50	1.00	0.25	12.00
伝染性紅斑	報告数	7	2			1	1					
	定点あたり	0.19	0.06	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	31	7	5	6	1	2	4		5	1
	定点あたり	0.56	0.86	0.70	0.83	1.50	0.33	0.67	1.00	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	8		3	2	1		2			
	定点あたり	0.19	0.22	0.00	0.50	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	9	1		2			3		3	
	定点あたり	0.25	0.25	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	13	8	1	4						
	定点あたり	1.50	2.17	2.67	0.50	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	6	7	2		2			1		2	
	定点あたり	0.86	1.00	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～19週)

2類感染症	結核	82例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例			
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病 6例
	レジオネラ症	3例			
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例(1)	急性脳炎 2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	1例	梅毒 5例
	破傷風	1例			

()内は今週届出分、再掲